

在住功労

現に50年以上本町に在住し、年齢77歳を超え、長年にわたり福祉向上や産業の発展に努められたとともに、地域発展のために貢献した方(50音順)

※氏名公表に同意された方のみ掲載



◆合田とし子 ◆小山勝子 ◆國岡玲子 ◆日下部義則 ◆木田玲子 ◆菅野知榮子 ◆加納幸子 ◆金澤文雄 ◆金澤サヨ子 ◆金刺藤雄 ◆勝呂タミ子 ◆小澤修子 ◆小川春子 ◆大塚義昭 ◆扇川トメ子 ◆及川英子 ◆井上完子 ◆稲辺徳子 ◆石橋和美 ◆石橋あき子

◆中田士郎 ◆中澤憲作 ◆内藤均 ◆徳永比呂道 ◆徳永トクエ ◆谷岡友子 ◆館山智恵子 ◆館昭子 ◆高橋澄子 ◆高橋幸子 ◆鈴木智子 ◆鈴木勝満 ◆須甲守雄 ◆白井洋子 ◆佐藤亮子 ◆佐々木志郎 ◆佐々木喬子 ◆酒井勝治 ◆小林静子 ◆小崎則子

◆吉田喜代美 ◆山本輝美 ◆山崎義一 ◆森田幸稔 ◆森田幸子 ◆村上佳代子 ◆武藤トミ子 ◆向文江 ◆宮脇恵子 ◆宮崎勲 ◆水谷禮子 ◆水谷博之 ◆藤林美沙子 ◆藤田重太郎 ◆藤田茂 ◆日座紘一 ◆野田昌明 ◆中村年男

文化奨励賞

本町の文化振興・発展に貢献し、将来が嘱望される個人・団体

磯里多恵

アイヌ民族衣装の製作指導を行ってきたほか、古式舞踊やムックリの演奏指導などを通してアイヌ文化の普及、啓発に取り組まれてきた。



金子ひで子

数多くの舞踊団体に所属する中で、弟子屈町民によって誕生した「弟子屈音頭」と「月の摩周」を後世へ繋ぐための保存団体設立にも携わり、45年以上の長きにわたって活動されてきた。



平出隆子

陶芸の製作活動を通して自身の技術向上と研鑽に励む傍ら、地域に根付く文化の一つとしての陶芸窯を築き上げ、数多くの人々に対する指導的役割を担ってきた。



長年の功績に感謝 弟子屈町120周年記念 弟子屈町功労賞・文化奨励賞表彰式

令和5年度弟子屈町表彰式が10月19日、町社会老人福祉センターで開催されました。この表彰は、町の行政・経済・産業・文化などの各分野にわたって、町の振興と発展に寄与された方々に表彰状・記念品などを贈呈し、その功績をたたえるもので、今年で40回目。これまでに2,639人と21団体が受賞しています。また今年度は、弟子屈町文化奨励賞表彰式も合同での開催となりました。

今年度は特別表彰として1人、功労賞は、善行表彰を1人と2団体、在住功労を64人が受賞。文化奨励賞は3人が受賞しました。式では、徳永町長と岩原教育長から一人ひとりに表彰状・表彰盾が手渡されました。受賞者の皆さんを紹介します。

(敬称略)

特別表彰

布施裕章



本町に多大な功績をされた方

昭和46年7月に「布施医院」を開業。令和5年5月末の閉院まで62年間にわたり、本町医療の維持・発展に貢献された。令和3年から始まった新型コロナワクチン接種に対しても尽力され、町民の健康保持に寄与された。

善行表彰

町民の模範となる善行のあった方および公益のため多額な私財を寄附した方

辻谷建設 株式会社 代表取締役 辻谷智之



会社設立90周年を記念し、現金10,000,000円を町への感謝と環境保全に役立ててほしいとして寄付された。

森内重則



現金4,500,000円を町の発展のために役立ててほしいとして寄付された。

株式会社 ニューヨークジョーエクスチェンジ 代表取締役 乾宗宏



プレジャーモーターボート(3,380,000円相当)を屈斜路ウォータースポーツ交流公園で行われる水泳大会などでの救助艇として役立ててほしいとして寄付された。



受賞者の皆さん